

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



## 決算審査（有価証券や工芸品）

町田市議会は決算認定の審査を常任委員会ごとに行っていますが、所属する総務常任委員会の審査中、政策経営部所管部門の中で不思議なもの一つ発見しました。町田市が保有する有価証券として、「多摩TV 出資金2000万円」と言うものでした。今年の支出ではなく、予算書には入ってこないもので、資産の項目の中にあるものです。多摩TVの活動状況やその出資金の現在評価額などを聴くと、東京都や近隣自治体も出資していると言ひ、どのような活動をしているかが大変曖昧なものでした。本来、もう少し質疑内容を増やして配当状況などを聞いたり、会議の進行を止めて、資料を請求してもよかったです。決算関連の事業評価シートの中に項目名と金額が記載されているので、内心、「これは、いつでも問題にできる。むしろ、議長の自分が一般議員に戻った時点で、本会議の一般質問で問いただした方が、事態がより鮮明になるだろう」と直感しました。

続いて、財務部の所管事項審査で、町田市の財産として、有価証券や美術工芸品の評価がどのようになっているかを尋ねました。上記の「有価証券」の内容を別の面から確認すること、あるいは、他にもこうした出資金の有価証券の保有があった場合、その評価がどのようになっているかを考えるためでした。それらは、購入額で評価するというものでした。つまり、それが市場価値において「無価値」となっても、帳簿上でその存在が無くなる限り、表面上は変わらないとする立場だと理解しました。

## 北朝鮮に抗議声明したこと

このたびの北朝鮮の弾道ミサイル発射・核実験に関して、町田市は行政と議会のそれぞれ「長」の連名で抗議声明を出しました。この件に関する町田市議会のHPサイト記事のことを、私のブログに追記しました。もちろん、市長、議長の名で抗議声明を記しました。

その翌日の読売新聞を見ると、福生市が抗議声明を発したこと、町田市、青梅市、清瀬市、東久留米市が同じく声明を発表したと記しています。しかいながら、議会の行動の記載は皆無！メディアらしいのですが腹が立つものでした。概して、メディアの多くは、議会の存在を無視する、あるいは積極的な行動に関しては記載しない。そのスキャンダルは微細でも詳細に取り上げるといふ方針が定着しているのではないのでしょうか。他の新聞（朝日、毎日、東京）を改めて見ると、その当該記載は見当たりませんでした。なお、議会はその声明に先行して、関係する住民請願に関して審査を進め、委員会でいち早く採択（請願では可決を使わず、採択と言う）していますが、その件の報道も一切ありませんでした。



「保守連合会派」議員全員で、2016年2月に石垣島を訪れ、洋上から「弾道弾迎撃ミサイル」積載作業中の揚陸艦を見る

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail: yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員・納税者主権

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守連合会派室



保守連合会派所属議員

## 「フェスタまちだ」開会式で述べた挨拶



町田市で9月に開催される最も大きな行事とも言える、「フェスタまちだ」（町田エイサー祭り）において、主催者である町田中央地区商業振興対策協議会幹事長 石井幸隆氏の挨拶があり、石阪市長、商工会議所会頭の深澤勝氏に続いて、議長の私が写真の次第で、下記の趣旨の挨拶を行いました。

町田中央地区は、町田の中心商店街として存在するだけでなく、隣の神奈川県まで広がる商業センターであるべきと言う考えを述べました。もとより、これは私だけが考えているのではなく、自分の住む街の中心街が広域の住民を対象とした商業・ビジネスの中心であってほしいと願うのは当然のことと理解しています。

より広範囲の消費者を引き寄せ、さらに親近感を持ってもらう、あるいは知らない人がいないようにくまなくPRする、そのためのイベントになってほしいと願うわけです。なお、10月22日には「時代まつり」、11月12日には「キラリ まちだ祭」が開催予定です。

## 兄弟、姉妹、友好都市の相違

沖縄市で開催された「沖縄全島エイサーまつり」に石阪市長とともに、お招きいただきました。沖縄市と兄弟都市が豊中市、姉妹都市が米沢市、友好都市が町田市となっていました。そのまつりのゲスト紹介に関して、会場の式典においてその順に紹介がありました。そこでは、相手の都市とどのような関係か判るようになっていました。\*ちなみに、懇親会においては、看板が姉妹都市、姉妹都市、友好都市の順に記載されていました。まず、沖縄市の桑江市長が挨拶し、ゲストでは兄弟都市の豊中市の浅利市長が代表挨拶でした。次いでその他の市長、議長の紹介がありました。

ちなみに、町田市は兄弟都市も姉妹都市もどこも関係を結んでいません。特に、多くの都市が内外に姉妹都市を持っていますが、町田市は包括的な関係を結ぶ都市が存在しておらず、私は、他の都市を訪れるたびに、少し寂しい感じがしています。とりわけ、同じ規模、あるいは同じ成長を遂げる都市とは、いわゆる「姉妹都市」関係を結び、住民全体が相互に訪問して学びあう機会を増やすべきだと思いました。



大勢の観客が陸上競技場に集まり、式典開催

★政党無所属・市議会は保守連合 **市議会議長として活動中**

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（自宅）



メール送信



町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



インターン生募集中

## 研修レポート⑪ 宇都木 彩名

東京書籍の本社を訪問しました。東京書籍は教科書出版最大手の会社です。私はそこでデジタル教科書を使用している新しい教育指導法について、お話を聴きました。



デジタル教科書とは紙の教科書ではなく、タブレット等を利用して授業を行う教科書のことです。デジタル教科書の利点は挿絵や写真、本文を拡大提示することや動画教材の視聴が可能などです。スクリーンに提示することにより、生徒達は顔を上げて画面を見ながら集中して授業を受けることができます。また紙では伝わりにくい箇所が、動画教材の導入により児童達にイメージをつかませることが容易になると聴きました。

現在、特別支援を要する学生達にこのデジタル教科書を活用していただくこと、工夫が施されているそうです。目が不自由な子供たちのためには、音声付きのデジタル教科書を作成したり、教科書の背景や文章の色を自由に変更することができるように作成したそうです。これは、目の不自由な学生達はそれぞれ見えにくい色、見えやすい色が異なるとい

う理由が存在するためです。この技術により、各々が分かりやすい文章の教科書を手元に置き授業を進めることができます。



津田塾大学 1年 宇都木彩名 (第 39 期生)

(宇都木さんがモデルになってみました)  
デジタル教科書は学生達それぞれに対応した、テキストに変わることが可能です。また、このデジタル教科書と学力の直結した効果は証明されていませんが、学生達が授業の内容を理解することが容易になるという点は確かなことだと感じました。このデジタル教科書を使用して、勉強の面白さに気づいてくれる学生が、増えることを望んでいます

## 研修レポート①-2 村上 真由

ニューロネット株式会社代表取締役、前川博文さんに事業内容のお話を伺いました。何をしている会社かというと、Web 会議のシステムを作っているそうです。Web 会議とは、名前の通り Web 上で会議ができるというものです。例えると Skype のようなものです。ですが、Skype のような一対一ではなく、同時に多数の人が話すことができます。また、ID を必要としないため繋がる事も簡単とい

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員・納税者主権

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守連合会派室



市議会の傍聴・見学

うところも他とは違うところです。

この Web 会議は通常の会議と何が違うのか。それはオフィスが要らないということです。Web 上で会議を行うため、決まった時間に PC またはスマートフォンで会議に繋げるだけで参加できます。そのため、オフィスは要らない、移動する必要がないなどコスト削減に繋がります。また、移動する必要がなくなることによるメリットがあります。例えば、育児中の女性や親の介護をされている方だとかは中々オフィスに来ることが難しいでしょう。働きたくても、働くことが難しいでしょう。そのような状況の方でもこのシステムであれば働くことが可能となります。私も女性ですので、育児か仕事かで悩む時期が来ることもあるかもしれません。その点でこのシステムは素晴らしいものだと思います。

前川さんはこうおっしゃいました。「20 年後くらいには会社からオフィスが無くなる時代がくるかもしれない」と。オフィスが無くなる時代は今ではまだ考えられないかもしれませんが、今現在働き方改革というものも始まっているため、このような新しい働き方も広がっていったら良いでしょう。

玉川大学 3年 村上 真由 (第 40 期生)



## 研修レポート② 小山 光

特許権等取得支援事業を始めとする町田市の中小企業を支援する制度について、経済観光部・産業観光課の方々からお話を伺いました。中小企業が多く存在し、地理的に大企業の誘致が困難な町田市において、中小企業の発展はそのまま町田市の発展にも繋がります。その中で、なかなか表には現れない技術、しかし画期的とも言えるような技術について特許権を始めとする産業財産権の取得を促し、その費用の一部を市が負担するこの事業はその技術の付加価値を高め、それに伴い企業を、ひいては町田市をより活性化することが出来るという大きなメリットを持ちます。

また、町田市にある中小企業は何らかの分野に突出しているという訳ではなく、当然市も特定の分野の産業に関わる企業を優遇・支援しているということはありません。これは現在町田市に存在する企業だけでなく、これから新たに起業しようとする様々な人々に対してもその選択の幅を狭めることなくサポートできることを意味します。実際に町田市では、企業の法人登記も可能な個別ブースを備えた創業支援施設「町田新産業創造センター」を設立するなど、様々な機会の提供を行っています。これらの事業の未来予想図となる「様々なジャンルの企業が集まる豊かな街」というのは、様々な文化があふれる町田市の目指す姿としてはうってつけだと、お話を伺いながら心が躍りました。

早稲田大学 2年 小山 光 (第 40 期生)

\* 左の写真：ニューロネット (株) を訪問したものです。左が小山さん、その右側は村上さん

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (自宅)